

～ちょっと気になる感染症～

麻疹（はしか）について

◆麻疹（はしか）とは

麻疹ウイルスの感染による発熱と発疹等を伴う急性の感染症です。

その感染力はウイルスの中で非常に強く、麻疹を発症している人と同じ部屋にいただけで（空気）感染したり、飛沫、接触で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。

免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。現在、麻疹に有効な治療薬は無く、対症療法をしながら治癒を待つ事になります。

◆症状について

感染してから、通常10～12日程度（最大21日）の潜伏期間があります。

発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、解熱傾向になったのち、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1000人に1人と言われています。

麻疹治癒後数年～10年程度経過してから発症する神経疾患の亜急性硬化性全脳炎（SSPE）を引き起こすことがあります。

また、過去のワクチン接種の効果が弱まった場合など、麻疹ウイルスへの免疫が不十分な人が感染した場合、典型的な症状を示さず比較的軽症の修飾麻疹となることがあります。

◆予防について

麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。

麻疹ワクチンを接種することが有効な予防方法です。定期接種に位置づけられています。

◆麻疹のワクチンについて

ワクチンの種類 生ワクチン（麻疹風疹混合ワクチン）

対象年齢 1期（1～2歳の誕生日の1日前までのお子さん）

2期（幼稚園年長相当年齢）



- * 入学時に2回接種が条件となっている大学や、海外渡航時に接種証明が必要な国があります。
- * 対象年齢を過ぎると任意接種（有料）となるため、定期接種の年齢になったら速やかに接種を受けましょう。

◆学校保健安全法による取り扱い

麻疹は学校において予防すべき感染症第二種に規定されており、解熱後3日を経過するまで出席停止とされています。